



Piano Recital
KYOKO TABBE

田部京子 ピアノ・リサイタル

—SHINKA—

<進化×深化×新化>

Vol.5

2026
6.28 日 14:00開演
(13:30開場)

● 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

全席指定(税込): 5,300円

一般発売

2026年

1月17日(土)

10:00~

プレイガイド

■ 朝日ホール・チケットセンター

03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

朝日ホール・チケットセンター 検索



■ MIYAZAWA & Co.

<https://www.funity.jp/tickets/miyazawac/showlist>

■ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:314-311)

セブン-イレブンにて取り扱い

■ ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:34800)

店頭販売 ローソン、ミニストップ店内Loppiにて取り扱い

■ イープラス <https://eplus.jp> ファミリーマート店舗

主 催: 朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール / MIYAZAWA & Co.

お問合せ: サンライズプロモーション 0570-00-3337

(平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約) 0120-788-222 ※都合により公演内容が変更となる場合がございます。

朝日ホール会員先行発売

2025年12月6日[土] 10:00~2026年1月7日[水] 18:00

Web会員先行

朝日ホール・チケットセンター 検索

※「会員登録」ボタンから
ご登録ください。

電話先行

朝日ホール・チケットセンター
(日・祝・年末年始を除く10:00~18:00)

03-3267-9990

MIYAZAWA & Co. 先行発売

2025年12月6日[土] 10:00~

※「会員登録」ボタンから
ご登録ください。



シューベルト: 即興曲 op.142 より 第2番 変イ長調

Schubert: Impromptus op.142, No.2 in A-Flat Major

ショパン: 即興曲第1番 変イ長調 op.29

Chopin: Impromptu No.1 in A-Flat Major, op.29

ワルツ第9番 変イ長調 「告别」 op.69-1

Waltz No.9 in A-Flat Major, op.69, No.1, "L'adieu"

バラード第3番 変イ長調 op.47

Ballade No.3 in A-Flat Major, op.47

ノクターン第18番 ホ長調 op.62-2

Nocturne No.18 in E Major, op.62-2

幻想ポロネーズ 変イ長調 op.61

Polonaise-Fantaisie in A-Flat Major, op.61

シューマン: 謝肉祭 op.9

Schumann: Carnaval op.9

—SHINKA—

「進化」「深化」「新化」「真価」・・・

進歩していくこと、より深まっていくこと、新しくなること、真の価値・・・

各々の意味合いは異なりますが、

人生の中においては全てが密接に重なり合っているような気がします。

「深化」が、「進化」「新化」を生み、

「進化」は、「深化」「新化」の融合から生まれるのではないかと思います。

音楽家として常に追いつめられている「真価」は、作品の＜真髄＞です。

「真価」を伝える演奏家としての使命を果たすべく、

「進化」「深化」「新化」を続けることを胸に刻みつつ、

シリーズ—SHINKA—とともに歩んでゆきたいと思います。

今回は、シューベルト晩年に書かれた

4つの即興曲op.142より第2番で幕開けです。

その穏やかな時の流れを慈しむかのような静かな歌から

10年の月日が流れ、若きショパンが作曲した即興曲第1番へと続きます。

その後、ショパンが唯一婚約をした女性に贈ったものの

決別となってしまったことから

「別れのワルツ」と呼ばれている憂いを湛えたワルツ、

ショパンの独創性とロマン的な物語性の構成を

兼ね備えたバラード第3番、

そして、健康状態の悪化とショパンの創作を支えた

恋人ジョルジュ・サンドとの別れという

心身ともに苦しい中で生み出され、

生前中に出版された最後のノクターンop.62-2、

ピアノ曲として最期の大曲となった

ショパンの最高傑作でもある幻想ポロネーズを

聴いていただきたいと思います。

後半は、同じ歳のショパンを高く評価し天才と評した、

シューマンの「謝肉祭」です。

青年シューマンが想いを寄せた女性の出身地に因んだ

アルファベットを音名に変えて謎解きのように散りばめられ、

敬愛するショパンを始め様々な人物が登場し、

シューマン独自の詩的な情緒と

ファンタジーで描かれるカーニバルの世界。

シューベルト、ショパン、シューマン、

3人の巨匠が紡ぐロマンをお楽しみいただけますように・・・

田部京子

田部京子 Kyoko Tabe (Piano)

17歳で日本音楽コンクール優勝。東京芸術大学に進学後、ベルリン芸術大学、大学院を首席で卒業。エピナール国際ピアノコンクール優勝、シュナーベルコンクール優勝、ミュンヘン国際音楽コンクール(ARD)第3位など受賞。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィルなど多数の国内外オーケストラと共演するほか、世界のトップアーティストから共演者に指名され厚い信頼を寄せられている。CDは35枚以上リリース、国内外で特選盤に選出されるほか、レコード・アカデミー賞を受賞するなど高い評価を受けている。リサイタルシリーズ(2003年～浜離宮朝日ホール)は、シューベルト、シューマン、ベートーヴェン、ブラームスなどのシリーズに続き、2016年～2022年の『シューベルト・プラス』シリーズも大成功を

収め、2024年スタートの『—SHINKA— 進化×深化×新化』も高評価を得ている。また、NHKドラマ「夏目漱石の妻」の挿入曲「シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番」の演奏でも話題を呼んだ。2020年にはベートーヴェンの「ピアノ協奏曲二長調op.61a(ヴァイオリン協奏曲二長調op.61のピアノ協奏曲版)」と「皇帝」をサントリーホールで一夜に2曲演奏し高い評価を得ている。2022年には、田部京子に献呈された「シューベルト：ピアノソナタ第21番ピアノ協奏曲版(吉松隆編曲)」の世界初演が多くの話題を集め、大阪でも関西初演を行った。2023年にCDデビュー30周年を迎え、リリースされた「メロディー」も特選盤に選出、好評を博している。第一線で演奏活動を続け、日本を代表する実力派ピアニストとして人気を集めている。桐朋学園大学院大学教授。

公式HP：<https://www.kyoko-tabe.com>

—Web会員募集中— お申し込み **朝日ホール・チケットセンター** 検索 ※「会員登録」ボタンからご登録ください。

田部京子浜離宮朝日ホール公演
の最新情報がメルマガで届きます。
ぜひご登録ください。



特典1
登録料
年会費
無料



特典2
会員向け
先行販売
※先行販売を実施し
ない公演もあります。



特典3
24時間
購入可能



特典4
座席
選択が
可能



特典5
最新
情報のお
届け

